

森の寺子屋かわら版

第一回「森の寺子屋への疑問に答えます」




みなさんの「チャレンジ」を応援する『森の寺子屋』2020が今年もはじまります

2018年からスタートした『森の寺子屋』は、延べ25人以上の人が参加し、10人以上の人が、『森の寺子屋』で磨いたアイデアを実現しています。手探りで始めた『森の寺子屋』ですが、3年目に突入し、過去の実施方法を見つめ直し、新たな形で再スタートします。


そこで、「森の寺子屋や町内の方々の動きについてたくさんの人から知ってほしい」という想いから今月号から連載記事として、森の寺子屋を通して行われる町の「チャレンジ」を紹介していきます。

今まで森の寺子屋に関して「敷居が高そう」、「興味はあるが、参加するのはためらう」、「森の寺子屋を実はよくわからない」という意見もいただきました。

そこで、森の寺子屋が少しでも地域に開かれた場になるよう、寺子屋に対する疑問や不安にお答えします。


何かしたいと思っているのだけど、考えが全然固まっていないし参加してもちゃんとやっていけるか不安

具体的なアイデアがない人も、歓迎します。「森の寺子屋」は、種から芽が出る過程を応援・伴走する場です。やりたいたことが明確ではなくても「好きなことを追っていたい人を応援したい」や「どんな地域課題があるのか気になる」という人でも、参加を歓迎します。「森の寺子屋」が、ご自身のやりたいことの輪郭を明らかにするきっかけになればと思います。

どんな人が参加しているの？事業とかそんな大規模なことではないの？趣味レベルのことでもいいの？

過去の「森の寺子屋」の参加者は、20代から60代まで幅広い世代がいらつしやいます。職種も、公務員や民間事業者、主婦、個人事業主まで様々です。2018年、2019年の「森の寺子屋」では「自らがプレイヤー（実践者）であること」「補助金を前提とせず、まずはお金を作る方法を考えてみるこ




森の寺子屋とはどのようなことをする場なの？

2018年、2019年は「下川町民が町内で新しいことにチャレンジするのを応援する場」と銘打って半年間実施してきました。結果「何がやりたいか、まだ明確ではないけれど下川町のことが好きだから何か始めたい」という人や、興味を突き詰めた人、自分の仕事として新規事業を立ち上げたい人など、幅広い「チャレンジ」の「種」が集まりました。

2020年は、2年間の運営と参加者の皆様の声を参考に、場の方向性をもう少し整えることにしました。「チャレンジを応援する」という基本の姿勢は変えず、「チャレンジ」を「好きなことを追求する」「地域が抱える課題を解決する」という2つのカテゴリに絞り、2020年「森の寺子屋」は、いずれかに当てはまる「チャレンジ」の、最初の一步を応援する場として開放する予定です。


「できないと決めつけず、できる方法を探ること」という3つのことを大切にしてきました。この3つの姿勢は引き続き大切にしていきますが、「稼げる事業でなくてはならない」、「仕事にしなければならぬ」というわけではありません。趣味でも「この面白さをもっと下川の人に知ってほしい」、「同じものに興味を持っている仲間を集めたい」といったことでも、「森の寺子屋」で育てる、「チャレンジ」の種になると考えています。

他の参加者がやろうとけでもいいのか？

まずは見学、という形でも構いません。また、「どんな人が何をやるうとしていいのか気になる」という人も大歓迎です。見学を経て「〇〇さんのやってることに興味がある」「△△さんのチャレンジを応援したい」というふうには「森の寺子屋」をきっかけに、つながりが生まれたらと思います。



「しもかわまちづくりnote」にて森の寺子屋情報を随時更新中



まちづくりノートリンク

お問い合わせ
政策推進課
☆ 4 | 2511 | 内線 231
☆ 4 | 2511 | 02